

1 年頭のあいさつ

リハ科「制作」

2 クリスマス会(2棟・1棟)

3 クリスマス会(4棟・3棟)

4 クリスマス会(通所)

テーマ別改善運動院内発表会

人事異動



令和7年 年頭挨拶



ご利用者・ご家族の皆様、職員の皆様

院長 柳瀬 治

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

当センターは比較的穏やかなお正月を迎えることができました。年末年始に勤務された職員の皆様、仕事始めの準備をされた皆様に感謝いたします。

昨年も新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症が発生しましたが、幸い感染が大きく拡大することはなく、ご家族やボランティアの方々と交えて盛大に東大和フェスタやクリスマス会を開催することができました。ご利用者、ご家族の皆様の満面の笑みを拝見することができましたのも、ご利用者、ご家族の皆様、ボランティアの皆様、ならびに職員の皆様お一人おひとりのひとかたならぬご理解とご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年も「最も弱いものをひとりももれなく守る」という理念のもと、万全の感染対策、医療安全対策を継続しながら、医療・リハビリテーションの充実を図るとともに、ご利用者の年齢と状態に応じた日中活動を推進してまいります。併せて、重症児者の方々の在宅支援の要である短期入所事業および通所事業を進めてまいりたいと考えております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和7年が皆様にとりまして温かく実りの多い一年になることを願いまして、新年の挨拶とさせていただきます。



写真の壁面はリハビリテーション科のグループ活動で入所利用者の皆さんと一緒に作りました。今年は巳年。ヘビが脱皮して成長するように新たな一歩を踏み出す年にしていきたいですね。



クリスマス会



「クリスマスの飾り作りと今年大活躍したあの人がキタ———!!」

生活支援科 第2病棟 指導員 田野倉有花

第2病棟のクリスマス会は今年もたくさんのご家族に参加してもらい、クリスマスの思い出作りに、クリスマス飾りを一緒に作りました。作り方はとっても簡単!!透明のプラスチックボールに好きな飾りを詰め込むだけです。皆さんどの飾りがいいか一生懸命選んで、それぞれ個性豊かなクリスマス飾りができました。又、写真付きチャームに、キラキラのシールを貼って頂き、“推し”の作品も作りました。作品づくり後は、今年大活躍したあの人とあの一匹がLAより遥々帰国し、プレゼントを届けてくれました!あの名シーンも再現し、大盛り上がり!!最後は、今年1年間たくさん撮った写真のスライドショーで、あっという間にクリスマス会が終わりました。今年もたくさんのご参加、本当にありがとうございました。



「3年ぶりのスタイルで開催しました」

生活支援科 第1病棟 指導員 長谷川智子

3年ぶりにプレイルームに集合する形でクリスマス会を実施しました。1年間の写真をまとめたスライドショーを鑑賞後、まず1棟支援科職員全員による「パプリカ」の歌のお届けです。そしてハモネプ出場常連さんのアカペラグループ「8Law」の皆さんの登場です!BTSの「Butter」「Dynamite」から始まり、こっちのけんと「はいよろこんで」やA doの「唱」・LisAの「紅蓮華」にアンコールで「残酷な天使のテーゼ」の6曲を披露してくれました。どの曲も5人のハーモニーは圧巻で、利用者も開眼して耳を傾ける様子が多くみられました。職員やご家族からも楽しかった」などの声も聞かれ、一体感を感じることができました。感染の影響で、一部屋分の利用者4名は居室待機となってしまう残念ながら参加できなかったのも、来年度こそ全員集合して開催できることを願っています!





クリスマス会



「かいぞくたちのクリスマス」

生活支援科 第4病棟 主任 牛久祥穂



第4病棟のクリスマス会は、テーマ“みんなで創るクリスマス”のも利用者の皆さま、ご家族、職員が一体となり、音楽劇『かいぞくたちのクリスマス』を上演しました。この物語は、日中活動や日常の何気ないやりとりからヒントを得て生まれオリジナルストーリーです。ゲストに音楽療法士の水野豪さんをお迎えし、素敵な歌とギターレの演奏で物語に彩りを添えていただきました。舞台は広がる海。舞台の中央に大きな海賊船がそびえ、その周りを、かいぞく役の利用者の皆さんが囲みます。客席と舞台の境界線はなく、会場にいる全員が物語の一員となるような演出で、お話の世界が広がりました。劇中では、利用者が作った楽器や小道具が登場し、大波や小波、ざわめく海の音や動きを生き生きと表現してくれました。物語の中盤では、利用者が作詞した歌が披露され、優しい歌声が会場全体を包み込みました。また、ご家族による朗読のシーンでは、穏やかな語りかけが物語に温かみを添えてくれました。クライマックスでは、海賊船がクリスマスツリーのように飾られ、会場中から拍手と歓声が上がりました。そして迎えたラストシーン。「row your boat」の曲に合わせて、船に模した灯りがゆらゆらと揺れると幻想的な風景が広がりました。その光景を見つめる利用者の皆さんの目はキラキラと輝き、静かで感動的なひとときでした。みんなで創った音楽劇は大成功！このクリスマス会を通じて、日々の生活の中で生まれる繋がりや、共に創る時間の大切さを改めて感じることができました。これからも、利用者、ご家族、職員が共に日々を重ねながら、新しい物語を紡いでいけることを楽しみにしています。

「ディズニークリスマス」

生活支援科 第3病棟 指導員 三村英明

2024年度第3病棟のクリスマス会のテーマは『ディズニークリスマス！(もちろん非公認)』を目標に掲げ、企画を練りました。当初はプレイルームにシンデレラ城を作って、そこにプロジェクションマッピングのように映像を映し、その前で衣装を身にまとった利用者の皆さんが舞踏会を繰り広げる、なんて構想を思い描いていました。考えるのは自由ですからね。実際には予算、時間、何より力量の問題から、かなり現実的になりました…。それでも衣装にはこだわりました。女性利用者はディズニープリンセス、男性利用者は王子様やディズニーのキャラクターの衣装を準備しました。クリスマス会が開始するとそれぞれの衣装を身にまとった利用者の方々が、映画の名場面をバックに会場を舞い踊りました。観客席からの声援を受け、手を振ったり、笑顔で応えたりとまんざらでもない様子。ご家族も飛び入りで参加し、会場を盛り上げて頂きました。ティータイムを挟んで、国立音大生による演奏会。こちらもディズニークリスマスということで、ディズニーソング&クリスマスソングメドレーを演奏して頂きました。なかなか本物のディズニーランドには行けませんが、少しでも夢の国に行った気分を感じて頂けましたでしょうか？





クリスマス会



「遊んで、奏でて、驚いて！メリークリスマス！」

生活支援科 通所係 保育士 高橋達也

2024年のテーマは「遊んで、奏でて、驚いて！メリークリスマス！」をテーマに1週間、盛り上がりました！月曜日は音楽療法士の水野さんをお招きして、クリスマスソングを楽しみました。職員とのセッションもしていただき、サクソやピアノで「きよしこの夜」の生演奏を楽しみました！火曜日と木曜日のクリスマスゲーム、「プレゼントタワーを崩せ！」では、積み上げられたプレゼントを様々な道具で豪快に崩しました。誰がたくさんのプレゼントをゲットできるのか、職員も一緒になって白熱しました！そして金曜日は、Mr.トリックが新たなマジックを披露してくれました。スプーンが指にくっつくマジックを、目の前で披露されると、タネを見破ろうと覗き込む利用者もありました。皆様のご協力で2024年も利用者の笑顔が多い一年となりました。2025年もたくさんの笑顔が見られますように…。



テーマ別改善運動院内発表会



事務部 事務次長 近藤匠

令和6年12月13日(金)14時30分より、令和6年度テーマ別改善運動院内発表会が開催されました。発表は、テーマ名「ピラティスボールを使った取り組み～小さな力で大きく身体を動かそう～」(サークル名は、ピラティスボーイ)、テーマ名「療育施設での感染対策 ストップ耐性菌～楽しくわかる手指衛生～」(サークル名は、はたらく戦隊)の順で、それぞれ約15分

ずつ行われ、院内審査委員による審査の結果、はたらく戦隊が優秀賞、ピラティスボーイが努力賞を獲得しました。審査委員やサークルメンバーを含む21名がこの院内発表会に参加し、各サークルの発表に興味深く聞き入っていました。令和7年2月19日には、東京都社会福祉保健医療研修センター(〒112-0006文京区小日向四丁目1番6号)において、各都立病院や各都立療育施設から選出されたサークルの発表とともに、当センターで優秀賞を獲得した、はたらく戦隊によるテーマ名「療育施設での感染対策 ストップ耐性菌～楽しくわかる手指衛生～」の発表が行われる予定です。



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第115号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 令和7年1月31日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222